

まるぐちニュース 1月号

クレーンニュース

新年の始まりは保守点検からスタート！！

12月号で紹介したトルクコンバーターに続き、今回は作動油の保守管理について

作動油の汚染度をチェックしていますか？汚染度を調べるには、目視・嗅覚等でまず判定します。



作動油は規定時間ごとに交換することが必要です。そして作動油フィルタ・エレメントは作動油の中の異物を除去するもので、その機能の良否は油圧機器の寿命に著しく影響します。当社でもクレーン点検検査の際には、交換をお勧めしていますので、ぜひ御用命ください。(担当 中島)

平成 22 年弊社での、作動油の劣化・酸化によると思われる修理入庫状況

1. 回転断手（ワグラー、ジョイント）の油漏れ及び内部リーク（作動の不確実）O/H
 2. 油圧シリンダー（クランプーム、起伏シリンダー、アウリガ各シリンダー）の油漏れ O/H
- 上記の原因としては、シールの腐食及び破損が見られました。

建機ニュース

今月から重機の紹介をします。1回目は、皆さんも道路工事現場などで見たことがあるかもしれませんが、モーターグレーダーの紹介です。

整地する機械 モーターグレーダー

モーターグレーダーは、細長い車体の前後車輪の間に装着したブレードを使って、地面を平らに削り、ならします。ブレードは、地面をどのような形状に整地するかに合わせて、その角度を上向き・下向き・右向き・左向きとさまざまに調節でき、水平面だけではなく斜面を削ることもできます。地面が硬いときには、前輪の直後に装備されたスカリファイアーというツメを使って土を掘り起こします。グレーダーの整備も弊社にお任せ下さい。(担当 若林)



丸 第4号
平成 23 年 1 月 1 日

車検ニュース

大型トレーラ 新・ISO方式ホイール採用

大型トレーラのディスク・ホイールの取付けについては、これまでJIS方式が主に採用されていましたが、車輪脱落事故が多発したことや整備性の向上を図ることを目的に、排出ガス規制・ポスト新長期規制適合車から採用される大型トラックの導入にあわせて、大型トレーラ用のディスク・ホイール取付け方式についても国際的に主流となっているISO方式を採用することになりました。(担当 藤森)

1. ISO方式とは

世界中の大型トラックとバスの95%に採用されている国際標準のホイール取付け方式です。
ISOとは International Organization for Standardization (国際標準化機構)の略称で一般的には国際規格を示します。



2. ISO方式の特徴と有効性

- 1) シンプルな構造でタイヤ交換や点検整備等が容易。
- 2) 単純な締結方式で、長期間の使用でも、ディスク・ホイールやホルト、ナットの傷みが少ない。
- 3) 部品の種類が少なく、部品の管理が容易で誤組のリスクも小さい。

編集後記

新年明けましておめでとうございます

「まるぐちニュース」の第4子を賑々しく発行できましたことを、とても喜ばしく思っております。

さて、皆さんお正月は初もうでに行ってこられましたか？
私は、 ひたすらこたつとテレビの守りをして過ごしておりました。

新たな一年の始まりです。

氣を引き締め頑張るぞ～！

(担当 八木)

